

平成26年3月ダイヤ改正の提案を受ける

中央本部は12月19日11時より、平成26年3月ダイヤ改正について提案を受けました。

今回のダイヤ改正について会社は、平成25年3月ダイヤ改正以降に荷主から寄せられた要望を受け止めて路線ネットワークの最適化を行い、更なる収入拡大の推進と輸送品質の向上を図り、経営自立計画を着実に達成することとしています。

主な内容は以下の通りです。(詳細は別紙参照)

《平成26年3月ダイヤ改正の主な内容》

1. コンテナ輸送

- ① 関東～関西間の列車体系見直し
- ② 関西～九州間の列車新設、関東～九州間の列車体系見直し
- ③ 関東～北海道間列車の運転経路見直し
- ④ 災害廃棄物輸送終了に伴う列車体系見直し
- ⑤ 自動車部品専用列車の列車体系見直し
- ⑥ 金沢～新潟・金沢～関西間の列車体系見直し
- ⑦ 北王子向け紙輸送の列車体系見直し

2. 車扱輸送

- ① 根岸～八王子間の石油列車新設
- ② 川崎貨物～宇都宮夕間の石油列車体系見直し
- ③ 美祢～岡見間の石灰石・石炭灰輸送終了に伴う列車体系の見直し

3. その他

- ① 駅設備改良(架線増設) 黒井

4. 列車計画の規模

- ① 列車キロは現行と比べ、1日あたりコンテナ列車が2,400kmの減、車扱列車が500kmの増で、合計すると2,900kmの減となります。
- ② 年間の輸送量は、コンテナ列車で2,255万トン、車扱列車で877万トン、合計で3,131万トンとなり、対前年比で+125万トンとなります。

5. ダイヤ改正日 平成26年3月15日(土)

平成26年3月ダイヤ改正は平成25年ダイヤ改正で寄せられた意見を基に、列車新設やリードタイム改善を図るダイヤとなっていますが、一方で輸送力の最適化を配置するとして、不採算列車の見直しによる列車キロが減少など機関車・貨車の効率性を最大限高める内容となっています。

中央本部は今後申し入れを行い、①収入拡大施策としての経営責任の明確化。②輸送障害等に対する危機管理体制の充実と欠員対策。③安全最優先の職場風土の確立。④各系統別の教育体制・技術継承の充実。⑤基地の将来展望と使命を明確にし、危機管理体制を含め存続に向け取り組む。⑥昨年度の課題の改善を図る。⑦JR貨物労連組合員の雇用と生活を確保する事を目指して取り組むこととします。